

高校生による歴史資料調査見学

開催日：令和7年7月23日（水）24日（木）25日（金）

開催場所：高知県史編さん室（高知県自治会館4階）

内容：県史編さん業務の概要の説明、古文書取扱い体験、
くずし字用例辞典の使い方、資料撮影体験、日々雇用職員作業の見学

参加者：高知県立高知追手前高校生9人 ※23日は引率の教職員も参加

○県史編さん事業の概要を説明しました。各専門部会が日々調査を行っているということや、歴史資料調査隊の養成講座の人材育成を行っていることなどをお伝えしました。



○資料の取扱い方について、担当職員から説明を受けた後、実際に古文書を触れる、くずし字の解読に使う辞典の使い方を学び、実際に字を調べる、資料の撮影などの体験をしてもらいました。加えて、民俗分野についてお話する回もありました。



▲古文書に触れてみる



▲資料撮影体験



▲辞書を用いて文字を調べる



▲民俗分野について聞く

○現在、当室の日々雇用職員として活躍している歴史資料調査隊の学生から、資料撮影やデータ整理、翻刻についての説明を行いました。



◀アルバイトの学生から資料撮影について説明を受ける

○見学の間にはアンケートへの記入にご協力いただきました。
学生からいただいた感想を一部抜粋して掲載します。

Q. 歴史資料調査を見学していかがでしたか？【とても楽しかった：8名・楽しかった：1名】

・理由（抜粋）

- 実際に自分の手で触って、この漢字は何の感じなのか考えたり調べたりしたことが楽しかった
- 地元を知る方法を発見できた
- 古文書の写真を撮ったり、貴重な体験ができて楽しかった

Q. この見学を友人や先輩・後輩にお勧めしたいと思いますか？【すごく思う：7名・思う：2名】

・理由（抜粋）

- 教科書で見るような資料を、直接読むことができる経験は大変価値があると思うから
- 普段できない体験ができて、すごく楽しかったから
- 大学の学部がどんなものでも、自分が興味のあることができると感じられるし、昔の出来事を知れて、それに関われる面白さを感じて将来の仕事選びにもつなげられると思ったから
- 高知県に住んでいる人間として自分の地元を知れるいいきっかけになると思うから
- ネットなどのツールでは絶対に体験できない
- 約60年ぶりであつたに近く、日常的に県史編さんについて知ることができないから

○今回は、夏休みを利用した見学でしたが、とても熱心に参加してくださり、積極的に質問をしてくださいました。参加された学生の方には、文理関係なく、こういった歴史資料調査に参加されているということを知っていただくことができたと思います。
今回限りではなく、冬休みや春休みの期間を活用して見学ができればと考えております。